

2月20日 朝礼にて 校長講話

先週のなかま班での大縄大会についてと、見守り隊に感謝する会についてお話しします。大縄跳び、たくさん跳べるようになったね。先生は、いろんな班が跳んでいる様子を見て回っていて、そこで素敵な声かけをしているのを耳にしました。「もっと声出して」って声をかけているのを聞きました。声がそろそろと気持ちがそろそろ、心がそろそろ。タイミングがあって、よく跳べるようになっていました。ひっかかった子に「だいじょうぶだよ」と声をかけているのも耳にしました。また、ひっかかった子にマイナスの言葉をかけている子に対して「そんな言い方をしてはだめだよ」と教えている場面にも出会いました。

もう一つ、縄を回してくれていた人立って下さい。ずっと、回してくれていた人がいるから、上手に跳べるようになったのだと思います。ありがとうという気持ちを込めて拍手をしましょう。

さて、見守り隊の方に感謝する会は、先生はリハーサルしか観られなかったんですが、見守り隊の皆さんに、いつもありがとうという気持ちと、喜んでもらいたいという気持ちを込めた会を行えたと思います。この間、見守り隊のおじさんに会ったとき、「こんなにいい会だったよ」とスマホの写真を見せてもらいました。お礼のメダルを渡したときの様子が映っていました。そのときの、3年生の代表の子が「毎日見守ってくれてありがとう。」と言っていました。雨の日も、風の日も、寒い日も、暑い日も、みんなのために来てくれているんだね。また、「『元気かい』『学校はどう』って声をかけてくれてうれしい」という言葉もありました。安全とともにわたしたちの成長も気にかけてくれて、いつも見守ってくれているんだね。あらたまって、お礼を言う機会はなかなかないけれど、毎日、いろんなところでありがとうって言えることがあるといいですね。